



これから迎える超高齢社会では、在宅療養している方が安心して快適な日常生活を過ごすことが必要です。例えば、入れ歯の調子が悪いのに歯科医院まで通院することができないため、我慢して調子の悪い入れ歯で食事をしている。これでは食事が減って低栄養の原因となってしまう、快適な療養生活を送ることはできません。

歯科訪問診療とは、精神的、身体的な理由で歯科医院へ通院することが困難な方のために歯科医師が患者のところに向いて行う歯科診療のことです。在宅で療養している方が入れ歯を紛失してしまった場

歯科訪問診療 在宅療養者の口内ケア



龍口 幹雄理事

合でも、歯科訪問診療で入れ歯を作ることができません。

壊れた入れ歯を捨ててしまつ場合もありますが、歯科訪問診療で修理が可能なことがあります。また、虫歯の治療や入れ歯の調整だけでなく、歯科衛生士がブラッシングなど口の中の清掃指導や、口の機能の維持・向上のため、口の体操などを指導することもあります。

ただ限界があることも知っておいてください。歯科訪問診療では照明設備も不十分ですし、診療機材や薬品の関係もあり、歯科診療室で行う診療のように全ての処置を行うことはできません。治療の内容や体の状態によっては、通院や入院施設のある病院での治療が適切なこともあります。通院できないからと治療をあきらめてしまわずに、まずはかかりつけ歯科医院にご相談ください。